

令和元年度インターンシップ実習生受入テーマ

【課題②】「災害対応の情報共有に関する研究業務」

### ●実施内容

災害発生時の災害対応機関の情報共有に関する研究業務について実習を行う。

主に下記について研修を行う。

- ・ 災害発生時の災害対応機関の情報共有の重要性、災害情報共有の支援事例について研修を行う。
- ・ 災害対応における GIS を用いた情報共有の実践、又は災害情報支援活動における課題抽出について、テーマを設定し実務研修を行う。(テーマの設定は、興味・スキルに応じて設定する)

### ●受入条件

- ・ 大学または大学院に在籍（大学3年以上）する学生。
- ・ 防災に関する研究分野に関心があることが望ましい。
- ・ 基本的なパソコン操作ができることが望ましい。

### ●受入人数

- ・ 若干名

### ●実習期間

- ・ 令和元年7月22日～令和2年2月28日内の5日間～10日間。
- ・ 実習生と受入担当者での相談により決定する。

令和元年インターンシップ実習生受入テーマ

【課題③】「防災情報を活用した地域防災力の向上」

### ●実習内容

災害に強い地域づくりを目指して、全国各地では、地域の自主防災組織に加え、自治会や市民活動組織、小中学校など、様々な地域コミュニティが協力した地域防災の取り組みが行われている。これに対し、防災科学技術研究所では、地域防災に関する様々な知恵・知識が共有・活用できるインターネット上の情報提供サービスとして「地域防災 Web」を研究開発している。そこで、本インターンシップでは、「地域防災 Web」を基盤に「防災情報を活用した地域防災力の向上」をテーマに、主に以下について実習を行う。

- ・ 様々な地域コミュニティの協力・連携を通じた地域防災に関する情報の共有と活用について学ぶ。
- ・ 災害に備えた予防力・対応力・回復力を高めるために、様々な情報を活用した地域コミュニティや小中学校の防災取り組みを学ぶ。
- ・ 地域コミュニティの防災取り組みに参加（近隣の自治体を予定）し、防災情報を活用した地域防災の課題設定と対策の検討による地区防災計画の作成を体験する。

### ●受入条件

- ・ 大学4年以上の学生
- ・ パソコンを使った情報の検索、情報入出力等、パソコン操作ができること。
- ・ 地域の防災活動や小中学校の防災教育に関心があること。
- ・ 地域コミュニティの防災取り組みに参加できること。

### ●受入人数

- ・ 若干名

### ●受入期間

- ・ 令和元年7月22日～10月31日のうち5日間  
※実習生と受け入れ担当者での相談により決定する。

### ●実習日程（案）

- ・ 1日目 地域の防災取り組みにおける知の共有と活用
- ・ 2日目 地域の防災取り組みを支援する「地域防災 Web」
- ・ 3日目 地域コミュニティの防災ワークショップ体験①
- ・ 4日目 地域コミュニティの防災ワークショップ体験②
- ・ 5日目 レポート作成・プレゼンテーション